

地域生活実習

(令和6年度3年生用)

専門分野

授業科目	障害者を支える実習	講師	氏名	安部信一	開講年次	単位・時間
			所属	専任教員	3年次 後期	1単位 30時間
			実務経験	臨床看護師		
実習目的	精神障がい者が地域で生活するために必要な社会資源やシステムの理解を深め、精神障がい者のストレスやレジリエンスを支える能力を養う。					
到達目標						
知識・技術	1. 障害者総合支援法の介護給付(共同生活介護)訓練等給付(生活共同援助、就労継続支援、就労移行支援)の機能について理解し述べることができる。 2. グループホームに関わる多様な職種(世話人、サービス管理責任者、管理者)を知り、それぞれの役割及び看護師の役割を列挙できる。 3. 精神障がい者の症状コントロールや薬物療法の管理方法などのセルフコントロールについて理解し、説明できる。					
思考 判断・表現	1. グループホームでの生活状況を情報収集、アセスメントし、生活支援ができる。 2. 精神障がい者が行う生産活動を通して、その人が持つストレスに気づき、支援できる 3. 精神障がい者が地域と共同生活していくための課題を表現できる。 4. 精神障がい者の生活の場において、プライバシーへの配慮ができる					
主体的学習 態度	1. 実習中は積極的に質問や意見交換することができる。 2. 対象者に積極的にコミュニケーションをとることができる。 3. グループ間で協調できる。 4. 精神障がい者の地域生活における課題を明確に出来る					
実習期間及び 実習時間	1. 実習期間：5日間(臨地実習) 学内実習5日目13:00~14:30 2時間 2. 実習時間：原則として8:30~14:30					
実習内容および 実習方法	(実習内容) 対象が生活する場(グループホーム)及び就労継続支援B型施設(Winds)で疾患を抱えながら暮らす対象への支援を知る (実習方法) その日に担当する対象の生活状況、就労状況を観察し、援助を実践する。グループホームで障がい者へ挨拶後、その後対象と共に就労場所に移動して作業状況を見学し、共に作業を行う。作業の場で障がい者の人間関係や就労のための支援の現状と看護師の関りを見学する。 *詳細については地域生活実習要領および実習オリエンテーション時の配布資料を参照してください。					
実習施設	就労継続支援B型 Winds 障がい者グループホーム Maison de colza(メゾン・ド・コルザ)					
評価方法及び 評価基準	1. 「評価規程」および「実習に関する規程」、「追実習および再実習に関する規程」に基づいて行う。 2. 障害者を支える実習状況及び試験の結果を基に、評価表により100%評価とする。					
テキスト・ 参考文献	ナーシンググラフィカ 「精神障害と看護の実践」・「精神障害と看護の実践」 参考図書：医学書院 精神看護の基礎 精神看護の展開 社会福祉 在宅看護論					
留意事項	対象の生活の場に入ります。距離感を考えながら、社会人として配慮した行動をとりましょう。					